

令和3年度ログハウス設計コンペ部門募集要領

1 主催者

一般社団法人日本ログハウス協会

2 スケジュール

参加登録期間 令和3年2月3日～令和3年4月10日

作品提出期間 令和3年2月26日～令和年4月23日

一次審査 4月下旬

二次審査及び表彰式 5月下旬及び令和3年6月9日

3 設計課題

ログハウス住宅（別荘、集合住宅等を含む）の有する諸機能を最大限発揮しつつ、耐火性能、耐震性能、遮音性能等の確保のほか、近未来の子・孫の生活スタイルにも柔軟にマッチすることができる、優れた発想・夢のもとでのログハウスの提案。

4 設計条件

- 1) 敷地面積は500㎡以内（集合住宅の場合は900㎡以内）として、敷地条件、住宅等の床面積は適宜想定するものとする。
- 2) 敷地設定については下記の点において考慮することが必要となる。
 - ① 全国にはログハウスが積極的に建築されている地域があります。それらの特性を活かし、さらに魅力ある地域づくりに繋がるログハウスを提案すること。
(一方、ログハウスの建築が諸条件から気薄な地域があります。建築促進のモデルとなるログハウスの提案。)
 - ② 詳細設定の必要はないが、施工想定する地域をあらかじめ指定すること。
 - ③ 当該地域の建築技術やスギ、ヒノキ、カラマツ等大丸太を活かし、将来に残すことの仕組み、構法の提案に繋げる。
- 3) 1階～3階建て 設計した地域等で、これ以外の提案がある場合は、その旨を明記することができる。
- 4) 家族構成は自由
 - ① 設定した家族構成に見合う間取りになること
 - ② 設定した家族構成、設計した家のコンセプトを 設計図に明記する。
- 5) 丸太組構法によるログハウス住宅 なお、縦形ログ(在来軸組)、ポスト&ビーム等を含むものとする。
- 6) 優れた発想・夢のもとでのログハウス→構法の発展
昭和61年3月丸太組構法のオープン化が実現して以来、30余年が

経過。この間の技術発展を踏まえ、CLT 等とのコラボなど、提案者にマッチした構造提案を行う。

(構造計算などの分析は不要とします。)

5 応募資格

応募資格は以下のすべてを満たすものとする。

- 1) 大学等で建築を学ぶ学生、院生。応募の時点で 35 歳以下とする。
- 2) 国籍は問わないが、外国籍者については日本留学等 3 年以上の経験者とする。
- 3) 個人またはグループ応募として、グループの場合には 4 者以下のグループとする。グループには名称を付す。
- 4) 独自の考えで作成提案するもので、委託等を行わない。
- 5) 応募者に説明を求めることがあり、確実に連絡が取れることとする。
- 6) 作成段階で第三者のアドバイスを受けることを妨げない。

6 提出書類

応募に必要な書類は以下とする。

- 1) 応募用紙・参加者全員の氏名、大学等 学部を記入
- 2) 課題説明書
 - 下記の内容応募書に記載する 最大で A4 用紙 2 枚まで
 - ・設計したログハウスのコンセプトと PR ポイント
 - ・ログハウスの総額と使用木材の総額想定
 - ・提案ログハウスで地域振興にどのような効果があるか
 - ・設計図 (A1 用紙 1 枚) + 応募書 A4 用紙 2 枚となる配置図、平面図、パースは最低限記載すること。必要により立面図、伏図等提出する
 - ・提案するログハウス住宅のイメージが解りやすく表現されていること
 - ・設計図のデータの提出
- 3) 当該設計コンペにかかわる経費は自己負担となる。

7 賞

ログハウス建築コンテストと同様とする。

なお、当該応募作品部門については

一般社団法人日本ログハウス協会 会長賞

ログハウス設計部門特別賞を設定する 2 作品程度。

